

# こどもの日の集い

～初めての役割を果たして～

5月2日(月)は、「こどもの日の集い」を行いました。

すみれ組の子どもたちは、初めての役割分担を緊張しながらも、堂々と果たしていました。



はじめの言葉の担当は、茂木蒼和さんたちです。

「これから、こどもの日の集いを始めます。」

園長先生のお話とこどもの日の紙芝居と続きます。



紙芝居の後は、すみれ組のみんなが“人形の佳月”さんを訪問して、こどもの日に関係したこいのぼりや5月人形(兜)について、お店の方から聞いてきたことを、ちゅうりっぷ組のみんなに発表する場を設けました。

土屋幸生さんと羽田有伽さんは、吹き流しのいわれについて、「悪いものが、寄ってこないように飾ります。」と発表しました。

「今日の司会をする、上原丈太郎です、水戸条安です、一條湊斗です。よろしくお願いします。」

「1 はじめの言葉」

緊張した第一声でした。



会場となった遊戯室には、子どもたちが作ったこいのぼりが、たくさん飾られています。





続いて阿部未来さんと齋藤奏汰さんは、兜の由来について、「子どもが丈夫に育つように願って飾ります。」と発表しました。

最後に渡邊花穂さんと加藤心那さんが、この後おやつで食べる柏餅の由来について、「子どもがたくさん生まれるようにねがって食べます。」と発表しました。



「これで、こどもの日の集いを終わります。」最後は、福田彩葉さん、花井紗稀さんの終わりの言葉でした。

すみれ組さん一人一人が初めての役割をしっかりと果たすことができました。

これから、いろいろな場面で活躍することとなります。経験をどんどん積んで、どんな場面でもお話できるように支援を続けていきたいと思います。

さあ、おやつの時間です。今回は、それぞれの教室で食べることにしました。おいしそうに食べる子、あんこは苦手という子など様々でした。

